



愛をもって人生にエールをおくる

IGLグループ

たよりIGL

エールを送るコミュニティマガジン

147号

2025年9月12日発行



IGLの夢、それは
すべての人が生ある喜びを
わかちあえる理想郷づくり。

巻頭特集

被爆80年に寄せて
平和とともに歩む
IGLのあゆみ

IGLで働くひとインタビュー

サムエル園長リレーコラム

IGLナースিংホームシャレーが

「ユニットリーダー研修」実地研修施設に指定

教えてドクター！

教会から「愛の手紙」

施設だより

LOVE注入レシピ



Love has just begun.

It will be stronger and never die ...

はじめに愛があった。

被爆80年に寄せて — 平和とともに歩むIGLのあゆみ

今年、広島は被爆80年という大きな節目を迎えます。

そして私自身も、80歳を迎える年となり、これまでの人生と法人としての歩みをあらためて見つめる中で、人との出会いと、支え合いの積み重ねが、今日のIGLを形づくってきたことに心からの感謝を覚えています。

私は20歳の頃から、「乳幼児から高齢者までが安心して過ごせる理想郷をつくりたい」という願いを胸に、地域の皆さまとともに、福祉・教育・医療を支え、その発展に努めてまいりました。

その実現に向けて、乳幼児教育や高齢福祉、専門学校、留学生や外国人実習生の受け入れなど、活動の幅を少しずつ広げてまいりました。

IGLの理念を共有する各法人は、やがて“IGLグループ”という、互いに支え合い高め合う共同体へと育ちました。

そして今、次の世代が育ち始めています。40歳を迎えた副理事長をはじめ、志ある職員たちが、未来のIGLを支える力として少しずつ芽を出しています。私は、彼らとともにこの思いを育みながら、これからの地域社会がどんなに変化しても、「人と人とのつながりの温かさ」を大切にできる法人でありたいと願っています。

未来のIGLは、ますます地域と深く関わりながら、あらゆる世代のいのちと生活に寄り添っていく存在になると信じています。

高齢者の方々には、そのらしさを最後まで守れるような介護を。

園児には、安心して自分を表現し、生きることを楽しめる場を。

学生には、人としての在り方を学びながら、社会で愛を実践できる人に育ってほしいと心から願っております。

そして職員の皆さんには、「いのちに関わる」責任と喜びを感じながら仕事に向き合ってほしいと思っています。

IGLで働くことは、単なる労働や業務ではなく、“誰かの人生を支える一人になる”という誇りと使命を持つことです。

私たちのそばにいる人々が「ここにいてよかった」と思えるように、ともに喜び、ともに悩みながら、愛のある現場を築いていきましょう。

IGLグループ理事長 永見 憲吾



学園祖
永見以久三師
永見繁代師



学園祖
永見以久三
宣教師
ジョージ
モントゴメリー師



学校法人IGL学園を設立
幼稚園から安佐町後山に新設した
広島サムエル幼稚園に改称移転

ジャパンスイミング
スクール広島開設

特別養護老人ホーム第二
ナーシングホームゆうゆうを開設

介護老人保健施設、ケアハウス、在宅福祉などを複
合した「ベルシャレー」を開設

グループホーム
ゆうゆうを開設

IGL高齢者複合施設
西風新都を開設

介護老人福祉施設IGLナーシング
ホームシャレーを開設

介護老人福祉施設IGLナーシング
ホーム信愛の郷を開設

広島・長崎 被爆
終戦
1945年

永見憲吾
誕生

1969年
理想郷づくりの夢が
幼児教育から始まる

1974年

1978年

美鈴が丘サムエル幼稚園

広島サムエル第二幼稚園

1982年

永見悠騎誕生

1991年

1985年

特別養護老人ホーム
ナーシングホームゆうゆうを開設

1996年

1993年

IGL健康福祉専門学校を開校

2001年

IGL医療専門学校を開校

2003年

2007年

高齢者複合施設
アルペンローゼを開設

2010年

2014年

「IGL健康福祉専門学校」と「IGL医療専門
学校」を統合しIGL医療福祉専門学校開校

2016年

2018年

IGLグループ設立50周年

2023年

2025年



専修学校制度制定50周年記念祝賀会
専修学校制度制定50周年記念式典
文部科学大臣表彰を受賞

幼稚園と保育園の両方の機能を併せ持つ施設、
こどもの園として7つの認定こども園を開園しています



サムエル未来こどもの園



サムエル美鈴が丘こどもの園



サムエル美鈴が丘こどもの園



サムエル広島こどもの園



サムエル信愛こどもの園



サムエル東広島こどもの園



サムエル西条こどもの園



サムエル広島こどもの園 分園



サムエル広島こどもの園 ベル分園

エールを送る！

IGLで働くひと Interview

心を感じ、心を育てる。 やさしさが育つ毎日

おうじ ひろみ
保育教諭・正職員 **應 治 宏 美 さん**
2015年入職 サムエル未来こどもの園に勤務。



お仕事の内容を教えてください

現在は0歳児担任、また乳児クラスのリーダーとして正職員で働いています。

日頃から大切にしていることはありますか

「子どもの目線になって物事を考える」ということを日々の保育の中で心掛けています。0歳児は特にまだ言葉で表現することは少ないですが、目の動きや表情を見て「今何を感じているのかな?」と考えながら関わっています。子どもと心を通わせることができた瞬間はとても嬉しいですし、やりがいも感じます。子どもが見つけた大発見と一緒に楽しくなり、子どもの気持ちに寄り添いながら一緒に悩める存在でありたいと思います。

IGLで働いてどんなことを学びましたか

自分が愛されていると感じられると、自身も他人も大切にすることができるといことです。上手いかず涙が出る子どもの気持ちに寄り添い、温かい言葉をかけることを意識すると、ある日その子が困っている友達の姿を見て「〇〇したいと思ってるのかな」と助けようとする姿があり、自分の経験を通して他人を思いやる心が育っていることを実感しました。日々関わる子どもからたくさんのことを学び、それをまた子どもに返していけるよう努力していきます。

普段接している職員の皆さんへメッセージをお願いします

毎日子どもたちの素敵なエピソードや成長を職員同士で語り合う時間が大好きで、温かい雰囲気の中働けていることに感謝しています。これからも子どもたちと過ごす一日一日を大切に、より良い保育ができるよう努めていきます。

後輩(同僚)からのエール！

子どもの心の声に耳を傾け、成長と一緒に喜んで一人ひとりの気持ちに寄り添ったり子どものことを一番に考えられている先生です。いつも近くで先生の保育を見て、「次はこうしよう!」等沢山の事を吸収させてもらっています。心が柔らかく温かい先生は、私の憧れでもあり目標の先生です。
(同僚 三澤 菜月さん)



卒園生からのエール！

やさしいまなざしに包まれて

第二サムエル幼稚園
1981年卒園
たかはし ゆうすけ
高橋 祐輔さん
医師



引っ越してから小学校に上がるまでの半年間、サムエル幼稚園に通いました。両親のアメリカ留学から帰国したばかりで日本語があまり話せませんでしたが、優しい先生や友達に囲まれて楽しく過ごしました。クリスマスにはイエスさまのシールを貼ったり、卒園式で「いつのことだか思い出してごらん」を歌った思い出が、今でも心に残っています。



ハロウィンの仮装をする祐輔さん

乳幼児保育・教育事業 Topics 5月～8月

いっしょに過ごし、育ちあってきた仲間とつくる特別な時間

～年長夜のこども園～

「年長さんになったら・・・」と、子どもたちが楽しみにしている「夜のこども園」。お昼から登園し、夜までの活動を経験します。今年のテーマは…“みんなで力を合わせて楽しい夜のこども園にしよう!”です。テーマをもとに夜のこども園で何をしたいか、子どもたちとたくさん話し合いました!その1つが、夜ご飯作り。子どもたちの案で、カレーに決定!



クラスごとで自分たちの知っていることを話したり、おうちの人に聞いたりしながらどんなカレーを作るか相談です。



当日できあがったのは、7クラス、7種類のオリジナルカレー。具材もルウも隠し味もさまざまです!



ほかにも、みんなで体操がしたい! みんなで遊びたいと、ホールでゲームを楽しんだり、作ったランタンに明かりを灯して園庭や園舎の中をお散歩しました。



自分たちで考え話し合うことで、思っていることや感じたこと、調べたことを自分なりに表現したり、友だちの意見や考えを受け入れる子どもたち。仲間と共に力を合わせ、考えたことが形になることで、充実感だけでなく、一人ひとりの自信へとつながっています。

サムエル園長先生リレーコラム

心を育む



サムエル美鈴が丘こどもの園
吉岡 丹美園長

夜のこども園での小さなエピソード

太陽も沈み、暗く静かな園庭で消えそうなキャンプファイヤーの灯を見つめながら讃美歌♪しずかにしずかに♪を歌いました。歌い終わると「今の歌きれいだった。僕この歌好き!」と隣にいた男の子が優しく呟きました。私も彼と同じことを思っていたので、共感し嬉しかったです。綺麗な歌声はもちろん、その場の静けさ、薄暗さの中にある優しい灯、隣にいる仲間や先生、楽しかった記憶など…。目に見えるもの、肌で感じるもの、聞こえてくるもの、雰囲気、安心感など全てのことが彼の心を動かしたのでしょう。



園児募集について

サムエル各園に入園をご希望される方は各園のホームページよりお問い合わせください。



こども園 総合TOP

エールを送る！

IGLで働くひと
Interview

笑顔と信頼をつなぐ、架け橋に

正職員 **ガイレ ビプルさん**(ネパール出身)

2023年 入職 IGL医療福祉専門学校の事務部留学生担当として勤務。



お仕事の内容を教えてください

事務部で留学生担当として、留学生募集、ビザサポートや日常的な相談対応、翻訳・通訳業務を行っています。その他に病院の付き添いや通訳、アルバイトのサポートも担当し、留学生がより早く日本の生活に慣れるような環境づくりを頑張っています。

日頃から大切にしていることはありますか

私は留学生担当として、学生との信頼関係を築くことを大切にしています。私自身も13歳で家族と一緒に来日した当初は日本語が全く分からず、言いたいことが伝えられない不安や、多くの困難を経験しました。独学で日本語を学び、アルバイトや大学進学を通じて徐々に自信をつけました。大学在学中、IGLに母国の学生がいると知り、日本語に苦労する姿に自分を重ね、「助けになりたい」と思い、IGLでのアルバイトを始めました。困ったときに一緒に考え、笑顔で寄り添う中で信頼が生まれ、感謝される瞬間に大きなやりがいを感じました。学生たちの役に立てた経験が、大学卒業後IGLに就職するきっかけとなりました。今では、安心して過ごせる環境づくりを日々心がけています。

IGLで働いてどんなことを学びましたか

IGLで留学生担当として働く中で、異文化を理解する大切さを学びました。留学生一人ひとりのニーズに合わせたサポートをすることで、柔軟な対応力が身についたと思います。学生の病院付き添いや生活面でのサポートを通じて、留学生が日本の生活をより居心地よく過ごせる環境を作ることの重要性を実感しました。また、問題があった時に早急に対応し、信頼を築く方法を学びました。チームでの協力や、他の部署との連携の大切さを今も学び続けています。

普段接している職員の皆さんへメッセージをお願いします

職員の皆さん、日々の留学生のサポートに感謝しています。留学生とお互いに異なる文化や価値観を尊重し合いながら、より良い環境を作っていきましょう。困ったことがあればいつでもお声がけください。一緒に解決していきましょう。今後ともよろしくお願いします。

同僚からのエール！

ビプルさんはフットワークが軽く、いつも明るく前向きに動いてくれる頼もしい存在です。柔らかな人柄で学生たちとも自然に打ち解け、特にネパールの学生たちからはとても頼りにされています。そして、同僚である私たちにとっても、何かあれば気軽に相談できる大切な仲間です。いつも支えてくれて本当に感謝しています。これからも一緒にがんばりましょう！(事務部 留学生係 孫 蘇萍さん)



卒業生からのエール！

ひとつひとつの経験が、
力になっていく介護福祉学科
2024年3月卒業ふくおか こうき
福岡 功輝さん介護老人保健施設ベルローゼ
介護福祉士

小さい頃から高齢者の方とふれあうことが多く、小6の職場見学で介護に興味を持ちました。そして、高校生の時に人の役に立つ専門職につきたいと思い介護福祉士を目指しました。

IGLは先生との距離が近く、学びやすい環境で、学べる内容も豊富なことなど、さまざまな魅力を感じました。

今の職場は実習の際に、知識や技術が向上できて雰囲気良く、他職種との連携も取れ、働きやすい環境と感じたので決めました。

現在介護福祉士2年目で、学校で学んだ知識・技術や体験談を活かし、経験を積みながら先輩方から学んでいる最中です。行動力を高め、いずれ他の資格取得にも挑戦していきたいと思います。



専門学校事業 Topics 5月～8月

PICK UP！ 7月18日、IGLスポーツフェスタ2025開催！

2025年7月18日、広島県立総合体育館(小アリーナ)にて毎年恒例のスポーツフェスタを行いました。全6学科混合(歯科衛生学科・介護福祉学科・鍼灸学科・柔整学科・日本語学科・国際教養コミュニケーション学科)でチームを組んでの競技は「王様ドッジビー」と「おじゃまDA玉入れ」!!ドッジビーとは教員が王様となり、学生たちが王様を守りながらやわらかいフリスビーを投げ合う競技です。瞬発力や投球コントロールはもちろんですが、チーム内の戦略を実行するためのコミュニケーションも必要です。留学生と日本人学生がともに協力し合い、チームワークは抜群でした!来年も楽しみです!



体験できる！

未来を探せる！

進路体験型オープンキャンパス

IGLフェス！

開催日

2025/11/3

10:00～12:45(9:30受付)

会場

IGL医療福祉専門学校

進路に迷っていても大丈夫！まだ何をしたいか決まらない人も、これから考えたい人も、いろいろ体験して自分に合う進路を見つけよう！

10:20～

1クール 体験してみよう

歯科

歯科衛生士の世界へようこそ！
デンタルチェアの使い方

介護

やさしさにチカラをそえる仕事
～手だけでできる!やさしい介護体験～

鍼灸

はじめてでも安心。
やさしく学べるはり治療講座

柔整

テーピング基礎
～プレーを支えるのは、巻く技術だ～

11:00～

2クール 話を聞いてみよう

歯科

その歯ブラシ、自分にあってる??
歯ブラシ・歯磨剤の選び方

介護

10年後の自分を変える“人を支える”力
～介護のリアルをのぞいてみよう～

鍼灸

友達にも教えたくない
日常生活で使えるツボ講座

柔整

“筋肉から学ぶ”
柔道整復師の世界！

11:40～

3クール 体験してみよう

歯科

歯の型どりチャレンジ!

介護

支えるってこういうことだったんだ!
～手だけじゃない!道具と一緒に学ぶ介護体験～

鍼灸

実はエモい。
はじめてのお灸講座

柔整

包帯法 プロの技を体験!
～包帯巻き体験で柔道整復師への第一歩!～

Q 選べるメニューで自由にカスタム！

4学科×3種類、計12種類の学科体験メニューを用意。
1～3クールの時間帯で好きなメニューを選んで参加いただけます。
学校について詳しくお伝えするブースも併設しています。

当日の流れや詳細は本校ホームページをご確認ください

Q いろいろ 聞いちゃお！ブース

友達と一緒に参加も大歓迎！

お申し込みはこちらから！

学費や奨学金のご相談

住まいのご相談

学生と気軽に話せるカフェブース

お楽しみブース など

エールを送る！

IGLで働くひと Interview

その人らしい暮らしを支えたい — 地域とつながる支援のかたち

いまづ かずや
正職員 **今津 和也さん**

2000年入職 清和・日浦地域包括支援センターでセンター長、主任介護支援専門員。



お仕事の内容を教えてください

清和・日浦地域包括支援センターでセンター長、主任介護支援専門員として働いています。

日頃から大切にしていることはありますか

現在の職場は異動して3年目です。地域包括支援センターは、広島市からの委託事業を行い、内容も総合相談、権利擁護、介護予防等多岐にわたっており日々勉強しながら業務に取り組んでいます。また、地域包括支援センターには、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が配置されており専門職がお互いに連携をとりながらチームとして高齢者支援にあたっています。より良い支援が行えるように職員のチームワークを大切にしていきたいと思っています。

IGLで働いてどんなことを学びましたか

IGLに入職してから、デイケア、特別養護老人ホーム、老人保健施設、居宅介護支援事業所と様々な事業所を経験しました。それぞれの事業所でたくさんの高齢者の方々と出会い、その一人ひとりの方が懸命に自分らしく生きようとしている姿をみることができました。その経験を活かして、高齢者の皆様が最期まで望む生活が実現できるようにお手伝いできたらと思っています。

普段接している職員の皆さんへメッセージをお願いします

清和・日浦地区の高齢化率は46%と広島市の中でも高くなっており、様々な課題を抱えた高齢者が増えています。高齢になっても安心して暮らせる清和・日浦地区を目指して地域づくりに取り組んでいきたいと思っています。

上司からのエール！

地域包括支援センターのセンター長として、地域との繋がりを大切にしながら、リーダーシップを発揮しチーム一丸となって高齢者支援に精力的に取り組まれており、引き続きの活躍を期待しています。(管理者 寺崎雅浩さん)



活躍するあなたへエール！

IGLナースホームシャレー

さこがわ けいこ

迫川 圭琴さん



2003年 IGL医療福祉専門学校卒業
2004年 入職

IGLで学んだこと等を教えてください

入職してから沢山の方に思いやりのある声をかけていただき、その一つひとつが心に残っています。その中で相手の立場に立って物事を考える大切さを学びました。相手の気持ちに寄り添う姿勢が信頼関係を築くうえでどれほど重要かを実感しています。

また、職場の理念である「隣人愛」は年を重ねるごとに自分の中で深く根づいてきたと感じています。日々の積み重ねの中で、人としての温かさを養うことができています。

今後の目標

まず自分自身が元気であることです。健康であることが、日々の仕事や人との関わりにおいて何より大切だと感じています。そして、笑顔を忘れずに過ごすことで、まわりの人に明るさや元気を届けられるような存在でありたいと思っています。

自分の笑顔や前向きな姿勢が誰かの励ましや安心につながることを信じて、1日1日を大切に過ごしていきたいです。



高齢福祉事業 Topics

IGLふれ愛ケアセンター 5月～8月

あさひが丘団地の商店街の中にあり、清和・日浦地域包括支援センターとIGLデイサービスあさひが丘、IGLSWANが併設されています。開設されてから16年経ちましたが、地域福祉に貢献し地域の皆様に愛される事業所を目指しています。



広島市清和・日浦地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護・福祉・健康・医療などの相談に応じる総合的な支援機関です。

当センターは、清和中学校校区と日浦中学校校区を担当圏域としています。介護予防や権利擁護、ケアマネジャーの支援などを行い、地域の高齢者を包括的に支える役割を担っています。



通所サービス

● IGL デイサービス あさひが丘

こんにちは! IGL デイサービス あさひが丘です。私達が目指すのは、利用者の皆様が可能な限り自宅において、その方らしい生活を営むことが出来るよう、日常生活に必要な体力や筋力の維持・向上を目的としたトレーニング及び機能訓練を行うことです。一人では難しい運動も、デイサービスの仲間と一緒に元気になりますか! きっと、3～4か月後、半年後、一年後には笑顔で前向きに頑張れます。健康でいきいきとした生活が送れるように、機能訓練を中心としたデイサービスをよろしくお願いします。



● IGL SWAN

IGLSWANです。日常生活動作を改善する運動型総合事業(短時間型サービス)です。「いつまでも自宅で元気に暮らしたい」を目的とし、デイサービス又は自宅でも続けられる運動指導を行っています。ホールでは、5種類のマシンとストレッチ指導など、2時間みっちり使って取り組まれています。運動だけではなく、他者との交流もあり楽しみながら笑顔でご利用頂いております。

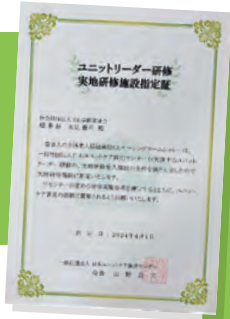
さあ、皆様も今から体づくりを始めませんか? お待ちしています。





全国から注目される介護施設へ！

「ユニットリーダー研修」実地研修施設に指定



IGLナーシングホームシャレーが「ユニットリーダー研修」実地研修施設に指定 全国から年間120名を研修受け入れ

介護老人福祉施設IGLナーシングホームシャレーが、全国のユニット型特別養護老人ホームに勤務するリーダーやリーダー候補者を対象にした「ユニットリーダー研修」の実地研修施設に指定されました(2024年4月)。

現在、月2回、1回あたり5名、4日間の研修を受け入れており、年間約120名の研修受講者を迎えています。実践的なケアの現場として、高い評価を得ています。



利用者一人ひとりに向き合う「24Hシート」

ナーシングホームシャレーの最大の特徴は、「24Hシート」と呼ばれる生活記録システムに基づく個別ケアの徹底です。起床時間、排泄のリズム、食事やお茶の好みまで詳細にアセスメントし、支援計画に反映。

排泄介助の見直しにより「にoirがない施設」として注目され、要介護3以上の90名中31名がおむつを外す成果もあり、利用者さまの尊厳を守り、自立支援につながっています。



▲ 24Hシート



個別ケアを徹底した実践で、“介護は楽しい”職場づくりにも成功



取り組みの始まりは、逆境から

2021年、コロナ禍の中でチャレンジを決断。当初は認定に必要な100項目のうち半分しか満たせませんでしたが、苦悩や戸惑いを乗り越え、職員全体で理念を共有し続けた結果、2024年度に認定を取得しました。

胸を張れる職場に

「介護は楽しい」と実感できる職場づくりを実現。職員の定着率向上やコスト削減などの成果も生まれ、ケアの質の向上だけでなく、職員のモチベーションを高める先進的なモデルとして注目されていくことでしょう。



ケアの価値観を変える現場力

ナーシングホームシャレーでは、「業務」ではなく「暮らしを支えるケア」を理念とし、業務マニュアルは存在せず、ケアマニュアルのみを運用しています。

「～しましょう」ではなく「～しますか?」という言葉づかいを通して自己決定を尊重。職員は「人を変えるのではなく、自分の行動を変える」を合言葉に個別支援へ移行。利用者さまの笑顔や会話が増えるなど、穏やかな空気が生まれています。



先生ー！

知っておくと役に立つ情報を発信！

頻尿



IGL鍼灸マッサージ治療院
鍼灸師 山本 竜正 先生



頻尿を引き起こす疾患

- 過活動膀胱**…膀胱はある程度尿が溜まると膀胱の壁が感知してトイレに行きたくなるようにできていますが、十分尿が溜まる前にトイレに行きたくなるのが過活動膀胱です。
- 前立腺肥大**…前立腺肥大症は男性ホルモンのはたらきが衰え始める30歳代から前立腺が大きくなり始め加齢とともに肥大して尿道を圧迫し頻尿以外にもさまざまな症状が起こります。また、肥大する前立腺の大きさや形には個人差があります。
- 膀胱炎**…膀胱炎は細菌やウイルスによる感染などで膀胱の粘膜に炎症がおこる病気で、炎症による刺激で膀胱の神経が過敏になり頻尿が起こります。他にも排尿時の痛み、残尿感、血尿、尿がにごる、膀胱のあたりの不快感などをともなうことがあります。

予防

- 生活習慣の改善**…水分を摂りすぎている場合は適切な量にすること、水分はカフェインを含まないものに変えるなどして予防・改善をしましょう。アルコールも利尿効果があり夜に飲酒すると睡眠中の排尿が増えます。
- 体を冷やさない**…体を冷やさないようにすることも大切です。できるだけ常温の飲み物を摂るようにします。夏でもシャワーだけで済ませるのではなく、足湯や湯船にゆっくりとつかることをおすすめします。

そのほかにも、便秘があると排尿しきれずに残尿量が増えて頻尿の原因になることがあります。食事や運動などを見直して便秘の解消を図りましょう。

病院・医療機関の診断を受ける

頻尿や多尿を引き起こす病気が隠れている可能性も否定できません。まずは、かかりつけ医や医療機関で頻尿や多尿、それにともなう症状について相談し 必要があれば泌尿器科の専門医を紹介してもらいましょう。

頻尿のツボでは中極穴、膀胱俞穴、脾俞穴、腎俞穴、三陰交穴などに施術をします。当治療院では頻尿の改善に日々取り組んでいます。

IGL鍼灸マッサージ治療院 〒731-0154 広島市安佐南区上安6丁目31-1 TEL082-830-3420

教会から「愛の手紙」



人生の道しるべ ～聖書の御言葉

美鈴が丘の教会では、木曜日の午後、サムエルこどもの園の園児さんや小学生たち(卒園児さんです)が、教会学校に15人ぐらい集まります。公立の小学校に上がると、もちろん礼拝はありませんので、教会学校に来て、大好きなお友だちと一緒に賛美歌を歌い、手を胸に当てて主の祈りを唱えることが、何よりも嬉しいのです。私自身、生まれた時から耳が聞こえない難聴のハンディがありますが、それでも与えられた自分の人生に迷いがなく、聖書に記された神さまの御言葉に導かれ続けて来たこの喜びを、幼な子たちにも伝えたい気持ちでいっぱいです。

私が高校生の時、イースター(キリストの復活を記念する)礼拝で、アメリカの宣教師の先生が、手話でこのような賛美を歌ってくださいました。「大波のような神の愛が、私の胸に寄せてくるよ。漕ぎ出せ、漕ぎ出せ、世の海原へ。先立つ主イエスに身を委ねて。」

私たちの人生に先立って導いてくださる救い主イエスさまが、いつもそばにいてくださいます。それまでは、自分を中心として物事を見たり考えたりしてきましたが、イエスさまを救い主と信じ、聖書

広島福音教会副牧師 加藤 久美子先生



を読むようになってからは、神さまの視点を通して物事を見る者へと変えられました。そして、私は誰かのためにお役に立つ存在にされていることに気がきました。

今、私はサムエルこども園や教会で、私の母言語である手話を使いながら、聴覚に障がいのあるお子さんや、大人の方たちに通訳をしています。特に、耳が聞こえない子どもたちの支援は、耳からの情報を目で見る情報(手話)に置き換えて伝えることが大切です。そして、それ以上に大切なのは、その子たちが抱える不安や心情を言語化して、聞こえる親に伝えることです。健聴者と聴覚障がい者の橋渡しの役目が手話通訳者。私はその役目を担う者とさせていただいていることを、心から神さまに感謝しています。

神さまの御言葉は私たちの人生の道しるべとなるのです。「あなたのみことばは、わが足のともしび、わが道の光です」(詩篇119篇105節)。



IGLグループは約60の事業所を展開しています。毎号、各施設からのお便りをお届けします！

施設だより

vol.7

社会福祉法人IGL学園福祉会

サムエル広島こどもの園

安佐南区サンハイツ団地中央に位置している本園は、緑豊かな園庭の中央に築山があり乳幼児問わず登る転がるトンネルくぐり。最高！四季折々に実る木の実に果実、子どもたちの五感を刺激し笑顔一杯元気に遊んでいます。

ひとこと

子どもの世界は、頭の中はどのように思考しているのでしょうか。大人から見ると目に止まらない物に、じっくり見入る真剣な眼差しに愛おしさを感じます。あ〜生懸命生きています。今日も学びをありがとう！



鈴木 奈津美 園長



住所 〒731-0154
広島市安佐南区上安5-7-3
電話 (082) 878-8877
開設 1981年4月1日
職員数 57名
定員 200名
(1号:5名、2・3号:195名)

※2025年8月現在



戸外で室内で体と頭を使った後は給食です。季節の野菜をたっぷり使い出汁にこだわった味付け。野菜嫌いのお子さんものいつの間にか野菜が食べられるようになっていきます。

乳幼児期の舌は一生の宝。管理栄養士、調理士さんの愛情たっぷり。子どもたちも大ファンです。

LOVE注入♥レシピ



忙しいママパパや、お料理が億劫になりがちなシニアの皆さんへ
季節のレシピをご紹介します。

さつまいもと鶏肉の マヨネーズグラタン



材 料 (4人分)

さつまいも …………… 1個(300g)
鶏もも肉 …………… 250g
玉ねぎ …………… 1/2個(100g)
塩 …………… 少々
こしょう …………… 少々
マヨネーズ …………… 大さじ4
ピザ用チーズ …………… 50g
パン粉 …………… 大さじ2
オリーブオイル …………… 大さじ1

作り方

- 1 さつまいもをよく洗い、皮つきのまま3cm角に切り、水にさらして水気をきる。
耐熱容器にさつまいもを並べ入れ、ラップをかけて電子レンジ(600W)で2分ほど加熱する。
- 2 鶏肉はひと口大に切り、玉ねぎはみじん切りにする。
- 3 フライパンにオリーブオイルを熱し、2の鶏肉・玉ねぎを入れて炒め、塩・こしょうをする。
- 4 ボウルに1のさつまいも、3の鶏肉・玉ねぎ、マヨネーズ大さじ2を入れて混ぜる。
- 5 耐熱皿に4を入れ、ピザ用チーズをのせ、残りのマヨネーズをかけ、パン粉をふりかけてオーブントースターで焼き色がつくまで焼く

スタッフを募集しています

私たちとIGLで働きませんか。詳しくは
採用ホームページをご覧ください。



- 保育教諭 ●保育士 ●正看護師 ●准看護師
- 歯科衛生士 ●ケアスタッフ(介護職)
- ケアマネジャー ●相談員 ●送迎ドライバー
- キッチンスタッフ など



IGLグループ

【本部】 〒731-0154 広島県広島市安佐南区上安6丁目31-1 <https://www.igl.or.jp/>



「愛をもって人生にエールをおくる」をキャッチフレーズに、乳幼児から高齢者まで、すべての人が生ある喜びを分かち合える理想郷づくりを目指す私たち。
教育・福祉・医療・健康を通じて、多くの人の人生にエールを届けたい。利用する人、生活する人、働く人、関わる人すべてが気持ちよく明るい希望を持って過ごせる環境を作っていきたい。
「環境が人をつくる、しかし最大の環境は人である」という考えから、誰もが活き活きと「隣人愛」の心を実践し、温かい環境が生まれることこそが、理想の「もてなし」だと考えています。